

大会宣言

わたしたちは、第 189 通常国会における政府・与党の暴挙を決して許さない。

一つは、労働者派遣法の改悪である。今回の見直しは、「均等待遇原則」と「派遣は臨時的・一時的業務に限る」という世界の常識から大きく逸脱しており、“生涯派遣で低賃金”を助長するものである。

もう一つは、国会内の数の力で安全保障関連法を強引に成立させたことである。多くの国民が「説明不足」「議論が尽くされていない」と反対や疑問の声をあげ、法曹界からは憲法違反という指摘があったにもかかわらず、国民の理解と合意形成を得る努力を怠り、採決を強行した。これは民主主義に対する暴挙であり、断じて許されるものではない。

加えて政府は、いわゆる「アベノミクス」の成果を喧伝（けんでん）しているが、貧困率は上昇し、格差社会が進行している。年収 200 万円以下で働くワーキング・プアが 1,100 万人を超え、働く者を使い捨てにする、いわゆるブラック企業も後を絶たない。経済の好循環には「底上げ・底支え」「格差是正」こそが必要である。しかし、政府は「日本を世界で一番企業が活躍しやすい国にする」ために、労働者保護ルールを破壊しようとしている。働く者を犠牲にする成長戦略を認めるわけにはいかない。

いまこそ連合は、働く者・生活者の一人ひとりの怒りを結集し、社会を変革する大きな力にかえていく。そして、集団的労使関係を社会の隅々にまで張りめぐらし、互いに支え合い、助け合い、ともに運動する仲間の輪を拓けていく。同時に、東日本大震災を風化させることなく復興・再生を引き続き全力で支えていく。

私たちがめざすのは、すべての人が自分の居場所と出番を見出し、かけがえのない人生をたくましく生きることができる社会。すなわち、働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会に参加でき、セーフティネットが組み込まれた「働くことを軸とする安心社会」である。

社会の不条理に立ち向かい、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻すために連帯して立ち上がろう。

来年の第 24 回参議院議員選挙は、そのための重要な闘いである。巨大与党の暴走を止め、働く者・生活者の声を政治に反映させるため、組織内比例代表候補予定者 12 名はもとより推薦候補予定者全員の当選に向け、連合佐賀 3 万 4 千人の総力を挙げて闘う。

わたしたちは、本定期大会で決定した運動方針に基づき、新たな労働運動のスタートをきる。

ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ「安心社会」を切り拓こう！

2015 年 10 月 17 日

連合佐賀第 14 回定期大会